

臨時船舶管理法案特別委員會會議事速記録第二號

(111)

昭和十二年九月八日(水曜日)午前十時九分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今カラ委員

會ヲ開催致シマス、直チニ質疑ニ入リマス、御質疑ノ方ハドウゾ御質疑ヲ願ヒマス

○子爵秋元春朝君 委員長ニ伺ヒマスガ、一般質問ヲスルトカ、又後デ逐條質問ヲスルトカ、總テ一緒ニナサルノデスカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 總テ一緒ニ致シマス

○子爵秋元春朝君 ソレデハ二三點御伺ヒ致シマス、船舶管理委員會ト云フモノヲ御拵ヘニナルヤウデスガ、之ヲ條項で見マスト、第七條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サムトスル時ノミニ見エルヤウデアリマスガ、第七條ヲ讀ンデ見マスト「製造若ハ賣買ノ價格」ト云フコトガ茲ニゴザイマスガ、是ハ、船ノ讓渡ナンカト云フコトニ付テノ價格ト云フヤウナモノハ入リマスカ入リマセヌカ、ソレヲ一點伺ッテ置キタイノデアリマス、ソレカラ船舶管理委員會ノ構成デスガ、コチラニ參考書モ頂戴致シテ居リマスカ、二十五人以內ヲ以テ組織スルト云フノ

デスガ、二十五人ノ内容、命令等ハ、凡ソ御腹案ガアレバ、伺ッテ置キタイと思ヒマス、先ツ此ノ二點ダケ先ニ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 秋元子爵ノ御尋ノ管理委員會ノ決議ヲ必要トスル事柄ハ、法案ノ第七條ニ關スルコトダケデアリマス、併シ其ノ以外ノコトデモ、緊急ヲ要シナイヤウナコトデ、機宜ヲ失スル虞ナキヤウナ事柄デ、業者ニ對スル影響ノ重大デアルヤウナ問題ハ、諮問ヲシテ、意見ヲ徵スル積リデアリマス、ソレカラ船ノ讓渡トカ、サウ云フヤウナコトハ、原則トシテハ決議ヲ要シナイコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ此ノ委員會ノ構成ハ、出來ルダケ關係各方面ノ意見ヲ反映スルヤウニシタイト思ッテ居リマス、船主デアリマストカ、造船業者デアリマストカ、貿易業者デアリマストカ云フヤウナ者ノ外ニ、矢張り一般國民生活、又ハ一般産業ノ見地カラ、種々ナル要求ヲ反映スベキ性質ヲ持ッテ居ル貴衆兩院議員ヲモ、全部加ヘマシテ構成シタイト思ッテ居リマス

○子爵秋元春朝君 尙他ノ點ニ付テ一ツ御伺ヒ致シマスガ、昭和九年或ハ十年邊ノ海

運關係ノ收支、是ガ若シ御分リニナッテ居ルナラ數字ヲ伺ヒタイと思ヒマス、海運關係收入ト海運關係ノ支拂、差引純收入ガ昭和九年並十年ニ幾ラニナッテ居リマスカ、大體デ宜シイノデアリマス、ソレカラ尙海運收入ト本邦重要輸出品等ノ關係デアリマスガ、是ガドウ云フ品目ガ主ナルモノデアスカ、其ノ點ノ御調べガアレバ、其ノ品目並數字ヲ伺ヒタイ、今回ノ支那事變デ、支那ノ方デハ貿易ガ出來マセヌノデ、相當ノ船腹ガ餘ッテ居リマスカ、是ナンカノ數字ガドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、其ノ點ヲ一應簡單ニ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(小野猛君) 海軍收入ノ最近ノ實況ヲ簡單ニ數字デ御説明申上ゲマス、昭和九年ノ一般ノ貿易外收入ソレガ十億五千四百七十二萬三千圓、其ノ年ノ經常的ノ收入ガ七億四千三百七十七萬五千圓、其ノ中デ海運收入ガ二億五千五百五十二萬圓、ソレカラ昭和十年ニナリマスト、相當増額致シマシテ、貿易外ノ收入ガ十二億五百六十七萬八千圓、內、經常的ノ收入ガ八億二千五百五十三萬三千圓、ソレカラ海運收入三億三百十八萬圓、斯様ニ相成ッテ居ルノデアリマス、

ソレヲ海運關係收入ノ純收入ガ幾ラル、要スルニ海運關係デ支拂ヲ差引キマシテ、差引ノ純收入ヲ調べテ見マスト、昭和九年ノ海運關係ノ收入ガ、最前申上ゲマシタ二億五千五百五十二萬圓、海運關係ノ支拂ガ一億六千九百九十六萬圓、差引ノ海運純益ガ一億四千四百六十一萬四千圓、ソレカラ昭和十年ノ分ヲ申上ゲマスト、海運關係ノ收入ガ三億三百十八萬圓、海運關係ノ支拂ガ一億二千五百五十二萬圓、差引純收入ガ一億七千七百六十六萬圓、斯様ニ相成ッテ居ルノデアリマス、次ニ御質問ノ重要輸出品ト海運關係ノ收入ノ比較、即チ海運關係ノ貿易外收入ガ、如何ニ日本ノ他ノ産業ト比較シデ、重要性ヲ有ッテ居ルカト云フ比較ヲ申上ゲマス、ソレニ付キマシテハ、綿織物、生絲、人絹等ヲ比較シタイト思ヒマスガ、昭和九年ニ綿織物ノ輸出ニ依ル收入ガ四億九千二百三十五萬一千圓、生絲ガ二億八千六百七十九萬四千圓、人絹織物ガ一億一千三百四十八萬四千圓、綿織物ガ七千七百四十八萬八千圓、海運收入ガ二億五千五百五十二萬圓、昭和十年ニ付テ申上ゲマスト、綿織物ガ四億九千六百九十七萬七千圓、生絲ガ三

億八千七百三萬二千圓、人絹織物が一億二千八百二十六萬圓、絹織物が七千七百四十四萬四千圓、海運收入が最前申上ゲマシタ通り三億三百十八萬圓、斯様ニ相成ッテ居リマシテ、綿織物、生絲ニ次グ大キナ海外收入ニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ最後ニ御質問ノ支那トノ關係ニ於キマシテ、此ノ度ノ事變ニ依ッテ海運收入ガドノ位減ルデアラウト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ極メテムヅカシイ推算デアリマシテ、未ダ私ノ方デの確ニ之ヲ知ルコトヲ只今研究致シテ居リマセヌガ、的確ノ結論ニ到達シテ居ラヌデアリマス、大體支那關係ノ日本船舶ガ總噸數約四十萬噸位デ、其ノ中デ支那ト日本ノ間ノ航海ニ從事シテ居ルモノ、即チ此ノ事變デ直接全面的ノ被害ト云フモノガドノ位アルカト云フコトデアリマスルガ、例ヘバ大冶ノ鑛石デアリマスルトカ、山東ノ鹽デアリマスルカ、サウ云フ風ナ荷物ハ全部全面的ニ被害ヲ蒙ッテ杜絶シテ居ルノデアリマスガ、定期航路ニ付キマシテモ、現在動イテ居リマスルノハ、北支ノ方面、上海航路ニ止マルノデアリマス、從ヒマシテ四十萬噸ノ中デ二十萬噸……二十四五萬噸ト云フ位ナモノハ全然貿易ガ杜絶シテ居ルト見テモ宜シイノデ

ヤナイカト、斯様ニ見テ居リマス、海運收入ガドノ位ト云フコトハ只今申上兼ネマスガ、此ノ前ノ上海事變ノ時ノ海運收入ノ打撃ニ付テ當時色々推算シテ見タノデアリマスルガ、約二千萬圓位ナ損失デアラウト云フヤウナ結論ニ到達シテ居ッタノデアリマス、此ノ度ノ事變ニ依リマシテハ、事變ノ擴大又ハ長期ニ亙ルコトニ依ッテ、ヨリ大キナ損害ヲ被ルコトト考ヘルノデアリマ

○子爵秋元春朝君 尙數點細カイトニ付テ御尋ネ致シマス、古船ヲ今回外國カラ輸入ニナルノデアリマスガ、船齡ト云フコトデアリマスガ、マアドノ位ノモノヲ許可スル……輸入スルト云フコトデアリマスカ、是ハ祕密ノコトニ屬シマスレバ、何デアリマスガ、新造船ガ毎年出來ルヤウデアリマス五萬噸出來ルヤウデアリマスガ、是ハ來年ニナリマシテ、鐵材ノ不足等ニ依ッテ色々コトガアリマスガ、ソレモ相當ニ行ク御見込デアリマスガドウデスカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 御承知ノ通り、軍用ノ爲ニ非常ニ船腹ガ不足シテ來テ居リマスノデ、古船又ハ外國船ノ輸入ヲ許可

スルト云フコトガ此ノ法案ノ提出ニナリマシタ一ツノ理由ニナッテ居ルノデアリマス、併シ御承知ノヤウニ從來優秀船建造ノ方針ヲ堅持シテ來タノデアリマスカラ、此ノ方針ニ惡影響ヲ及サナイヤウニ、外國船ヲ輸入スルニシマシテモ、餘リニ粗惡ナモノ又ハ老朽シタモノノ輸入ハ出來ルダケ之ヲ避ケタイト思ッテ居リマス、ソコデ御承知ノヤウニ世界戰爭中ニ於テハ相當粗製濫造ノ船ガアッテ、ソレ等ノ船ハ外國デモ寧ロ賣付ケタガッテ居ルト云フヤウナ性質ノモノデアリマスカラ、マアサウ云フモノハ成ルベクコチラデ引受ケナイ方宜イト思フノデアリマス、ソコデ大體十六七年ノ船齡、十六七年以內ノ船齡デアレバ、是ハ其ノ儘輸入ヲ許可シテモ宜シカラウト思ッテ居リマス、併シ餘リニ素質ノ惡イ船舶又ハ老朽シテ居ルヤウナ船ハ解體ヲ條件トシテ輸入サセルト云フヤウナコトニシナイト、補ヒガ十分付カナイデヤナイカト考ヘテ居リマス、一方優秀船建造ノ方針デ内地造船ヲ獎勵シテ居リマスノデ、其ノ方ハ只今ノ處出來ルダケ材料ノ如キモノモ廉價ニ供給スルヤウニ政府モ努力シタイト思ッテ居リマス、又船ノ標準船型ヲ拵ヘマシテ、成ルベクソレニ據ラセルヤウニシテ、

出來ルダケ生産費ヲ節減スルト云フヤウナ努力モシマシテ、從來通り優秀船ヲ建造スルト云フコトハ獎勵シテ行キタイト思ッテ居リマス、其ノ豫定通りニ造船ノ事業ガ進行シテ行キマスレバ、今年ノ下半年カラ來年ノ上半期ニ掛ケマシテ約三百艘、五十萬噸程ノ新造船ヲ得ルト云フコトニナル豫定デアリマス

○子爵秋元春朝君 私人質問ハ一時是デ止メテ置キマス、又後デ御伺ヒ致シマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御質問ニ關聯シテ御伺ヒシタイト思ヒマス、第四條ニ依リマシテ外國船ノ輸入ヲ緩和セラル、ト云フ方法ヲ御執リニナルト云フコトデアリマスルガ、是ハ總噸數何噸位迄ヲ輸入許可ヲ御與ヘニナル御見込デアリマセウカ

○政府委員(小野猛君) 第四條ニ但シ命令ヲ以テ定ムル船舶ニ付テハ此ノ限ニ在ラズト書イテアリマスガ、是ハ極ク小型ノ船ハ今ノ處デハ二十噸未滿位ノ船ハ是ハ問題ニシナイ、此レ以上ノ船ニ付キマシテハ、許可ヲ條件トシテ今大臣ノ申上ゲマシタヤウナ方針デ進ミタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 二十噸以上ノ船舶ニ限ッテ輸入ヲ許可スルト云フコトハ分リマシタ、船ノ輸入ヲ許可スル隻數ニ付キマシテハ御

考ガアリマスデスカ

○政府委員(小野猛君) 今ノ處戦局ノ次第ニ依リマシテ相當方針ニ變更ガアルカモ分リマセヌ、今隻數ヲ幾ラト云フコトニ極メテ居ラナイノデアリマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマス、其ノ輸入ヲ許可スル隻數ハ時ノ必要ニ應ジテ適宜政府ニ於テ之ヲ取捨スルト云フ御意嚮デアリマス

○政府委員(小野猛君) 大體左様ニ心得テ居リマス

○橋本辰二郎君 サウ致シマシテ、只今ノ大臣ノ御説明ニ依レバ、戰時中ニ粗製濫造ニ係ル處ノ船舶ノ輸入ハ好マシカラヌ、而シテ船舶ヲ十六七年以後ニ限ルト云フ御話デアリマスガ、恐ラク歐洲戰役ハ千九百十九年デ終ツタト思ヒマスノデ、二十年以後ノ船舶ニ限ツテ之ヲ許スト云フ御意嚮ト思ヒマス、サウ致シマス、ト云フ、十六七年以內ノ船舶ニ付キマシテハ無條件デ輸入ヲ御許シニナルノデアリマス、ソレ以後ノモノニ付キマシテハ解體等ノ條件ヲ附セラレルト云フ御意見デアリマス

○政府委員(小野猛君) 只今ノ處デハ其ノ以後ノ船ニ付テハ餘リ條件ヲ付ケナイ積リデアリマス、其ノ以前ノ船ニ付キマシテハ

解體ヲ條件ト致シマス

○橋本辰二郎君 ソレカラ現在御承知ノ變態輸入船デスガ、是ハ主トシテ支那籍ノモノガ多イト云フコトデアリマスガ、是モ一般外國船ト見做シテ輸入ヲ許可サレルト云フ御考デアリマス

○政府委員(小野猛君) 左様デゴザイマス

○橋本辰二郎君 ソレカラ今後ノ海運界ノ見透シニ付キマシテ、遞信當局ノ御案ヲ承ルコトガ出來レバ、仕合セト思ヒマス、御承知ノ通り、此ノ春以來船腹ハ非常ニ不足ヲ告ゲマシテ、殆ド是ハ世界的ニナッテ來タノデアリマスガ、此ノ日本ノ船腹ノ不足ハ寧ろ世界的ノ情勢ヨリ引摺ラレタカノヤウナ觀ガアルノデアリマス、歐洲ノ政情ガ切迫シテ、歐洲諸國ニ於キマシテ、非常ニ船ノ需要ガ激増シタ結果トシテ、東洋ニ游戈シテ居ル所ノ歐洲ノ船舶ハ殆ド本國ニ引揚ゲ、尙且不足ヲ告ゲルト云フヤウナ有様ニナツタト云フコトデアリマス、丁度南米ノ「リバープレート」近邊デハ毎日穀物ヲ積ンデ出ル船ガ三十艘乃至四十艘モアルト云フコトデアリマス、ソレダケデモ數千萬噸ノ船腹ヲ要シタト云フコトデアリマス、ソレモ相當今日デハ緩和サレタヤウニ思ヒマス、處ガ日本ニ於キマシテハ、日支

事變ノ爲、サナキダニ不足ヲ感じ、船腹ノ窮迫ヲ告ゲテ居ルノデアリマスガ、此ノ日支事變ガ終局ヲ告ゲマシタ上ニ於キマシテ、一方ニ於キマシテ、政府ノ獎勵ニ依ル所ノ新造船、即チ優秀船ガ竣工致シマシテ、海上ニ進出スルト云フ場合ヲ思ヒマスナラバ、私等ノ考ト致シテハ、必ズヤ茲ニ船腹ノ過剩ヲ來シテ、昭和五年六年七年見タヤウナ海運界ノ慘狀ヲ繰返スデハナカラウカト云フヤウナコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレデ無暗ニ船腹ヲ玆ニ殖ヤスト云フコトハ、或ハ一時ノ必要ヨリ已ムヲ得ヌ事情モ無論アリマスガ、餘程是ハ考慮シナケレバナラヌカト思ヒマスデスガ、大體ニ於キマシテ假令此ノ目下ノ事變ガ終局ヲ告ゲ、新造船ガ進出シ、而シテ之ニ對シテ外國船ヲ假ニ五十萬噸ナラ五十萬噸ヲ輸入ヲ許ストシテモ、尙且暫クノ間ハ海運界ノ不況ヲ來スヤウナ虞ハナイカト云フコトヲ御考ニナッテ居ラレルカドウカ、其ノ邊ニ付キマシテノ御見込ヲ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今ノ橋本サシノ御心配ハ御尤モト思ヒマス、政府ニ於キマシテモ只今御話ニナリマシタヤウナ世界戰爭後ノ船腹過剩ニ伴フ色々ナ弊害ヲ再ビ經驗スルコトノナイヤウニ十分注意致シ

タイト思ッテ居リマス、今御話ニナリマシタヤウニ、外國ニ於キマシテモ今日ハ非常ニ船腹ノ不足ヲ感じテ居ルノデアリマス、ラ、外國船ノ輸入ヲ許可スルトシマシテモ、當面ニ於テ日本ガ必要トスル程輸入モ十分ニ行ハレナイダラウト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ他方ニ於キマシテ事變ガ如何ナル程度ニ繼續セラルカト云フコトモ測リ知ラレナイノデアリマス、其ノ事變ニ伴フ要求ニモ應ジナケレバナラナイノデアリマシテ、現在ノ所ハ其ノ要求ニ應ジ得ルダケノ輸入ガアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、多少ノ懸念ヲシテ居ル程デアリマスガ、併シナガラ事變ノ進行ノ模様ニ依リマシテハ、其ノ輸入ガ程度ヲ超エテ、國內ニ於キマスル優秀船建造ノ方針ニ打撃ヲ與ヘル、惡影響ヲ與ヘルコトノナイヤウニ、能ク統制シテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、其ノ邊ノ點ハ橋本サシノ御心配ニナリマシタヤウニ、政府モ同ジ心配ヲ懷イテ居リマスノデ、十分過ナイヤウニ努力ヲスル積リデ居リマス

○橋本辰二郎君 御考ノアル所ハ承リマシテ、マア出來ルダケ弊害ヲ少クスルヤウニ御努メニナルト云フコトハ誠ニ結構ナコトト思フノデアリマス、此ノ外國船ノ輸入ヲ

緩和スルニ付キマシテモ、只今大臣ノ御見込ノ通りニ、私ト致シマシテモ外國ソレ自身ニ於テ船腹ノ非常ニ不足ヲ感シテ居リ、且其ノ建造費ノ如キモノモ著シク騰貴致シテ居リマスル今日デアリマスルノデ、假リニ此ノ法律ヲ設ケラレマシタ所デ、決シテ思フ如ク外國船ガ日本ニ流レ込ムト云フコトハ到底ハ豫期シ難イト私ハ思フノデアリマス、要スルニ是ハ現在日本人ニシテ外國人ノ名ヲ借りテ、船ヲ事實ニ於テハ自己ガ所有シテ、之ヲ運行シテ居ル人々ガ、此ノ際ニ此ノ法律ノ下ニ輸入ヲスルト云フコトノ便宜ヲ得ルト云フ程度ニ止マリハシナイカト、斯ウ思フノデアリマス、之ニ付キマシテモ現在ノ變態輸入船ト云フモノハ此ノ法律ニ依リマシテ悉ク日本籍ニ變ヘル手段ヲ採ルモノト御見込ニナッテ居ラレルノデアリマセウカ

○國務大臣(永井柳太郎君) 支那ノ船籍ヲ有ッテ居リマスル所謂變態輸入船ハ、是ハ多クハ日本ニ輸入スルコトニナルグラウト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 現在今事實日本人ノ所有ニセヨ、船籍ガ支那ニ在ルモノニ對シテハ、今日ノ日支事變ノ狀態ニ於キマシテ、之ヲ日本海軍ニ於テ拿捕スルト云フコトハ出來

得ルモノデアリマスカ、縱シセズニモセヨ如何ナモノデアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 是ハ實質的ニ押ヘマスルト、日本ノ船デアリマスルノデ、現在ノ方針デハ日本ノ方デハ之ヲ拿捕セザル方針ニナッテ居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 ソレカラ船舶管理委員會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フコトニナッテ居リマスルガ、之ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテモ十分御考ノアルコトトハ思ヒマスルガ、從來日本ノ海運界ニ於キマシテ國家ノ保護ニ浴スルモノハ、比較的大會社、若シクハ大船主ニ限ラレタヤウデアツテ、中小船主ト云フモノハ割合ニ其ノ御陰ヲ蒙ルコトガ薄カッタヤウニア

ルノデアリマス、是ハ實際ナノデアリマス、現ニ船質改善助成法ニ依リマシテ建造セラレタ船デモ、之ヲ主トシテ利用シタモノハ矢張り大會社デアリマス、又大船主デアリマス、又海事金融ヲ利用スルモノニ於キマシテモ中小船主ト云フモノハ其ノ利用ト云フモノハ、極メテ狭クシテ、主トシテ是ハ大キナ船主ガ利用シタカノヤウニアルノデアリマス、又此ノ春議會ヲ通過致シマシタ優秀船建造補助法ニ付キマシテモ、之ヲ利用スルモノハ、主トシテ矢張り大船主

ニ限ラル、カノヤウニアルノデアリマス、處ガ大キイ船主ト小サイ船主、中船主ト云フモノハ、利害關係ヲ色々異ニシテ居ル點モアリマスノデ、此ノ船舶管理委員會ニ於キマシテハ、有ラユル方面ヨリ衆智ヲ集メルト云フヤウナ御趣旨ノヤウニ承ッテ居リマスガ、果シテ然ラバ矢張り中小船主ノ代表者モ之ニ御加ヘニナルト云フ御意思デアリマスカ、如何デセウカ

○國務大臣(永井柳太郎君) 橋本サンノ御尋ニナリマシタコトハ御尤モデアリマスノデ、政府トシマテモ中小船主ノ代表者モ委員會ニ加ヘタイト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 私ハ法文ノ内容ニ付キマシテ御伺ヒシタイコトモアリマスガ、大體ニ於ケル質問ハ此ノ程度ニ止メマシテ、他ノ委員ノ御質問ノ後ニ條文ニ付キマシテ御質問ヲ致シタイト存ジマス

○岩田宙造君 只今橋本委員カラ御述べニナリマシタコトニ關聯シテ、一ツ御尋ヲシタイノデアリマスガ、今問題ニナリマシタ支那ノ所謂置籍、變態輸入船ト云フモノハ大凡ソドノ位アリマスガ、政府ニハ御取調ベガ出來テ居リマセウカ

○國務大臣(永井柳太郎君) 約三十萬噸程ト考ヘテ居リマス

○岩田宙造君 是ハ私ノ單純ナ杞憂カモ分リマセヌガ、モウ現ニサウ云フ支那ノ置籍船デ外國(第三國ノ人ニ「チャーター」シテ居ルヤウナ船デ、此ノ事柄ニ付キ問題ヲ起サムトシテ居ルヤウナ例モアルヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、是ガ支那ノコトデアリマスカラ、サウ云フ點ニ氣ガ付カヌシ、又實行シナイカモ分リマセヌケレドモ、只考ヘテ見マス、支那政府デ氣ガ付ケバ、其ノ船ノ名義上所有者ニナッテ居ル支那人ヲ壓迫スルカドウカシマシテ、其ノ船ヲ第三國ノ國民ニ賣渡シテ、名義ヲ書換ヘルト云フヤウナコトヲ致シマス、船ハ事實日本ノ人ガ實力デ持ッテ居ルノデアリマセウケレドモ、登録名義ガ第三國ノ人ノ名義ニナリマスルト、色々ノ煩ヒヲ生ズルヤウナ虞ガアリハシナイカト云フコトヲ杞憂スルノデアリマスガ、從ッテ斯ウ云フ何ガ出マスレバ、成ルタケ何等カノ相當ナ處置ヲスル必要ガアルノデナイカト思フノデアリマス、此ノ處ハドウ云フ御考デアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 此ノ變態輸入船ノ初期ニ當リマシテハ、相當支那カラ出資ヲ仰イデ、共同ノ出資デヤッテ居タヤウナ事實ガ相當アルノデアリマスガ、最近ニ於キマシテハ、只今ノ岩田博士ノ述ベラレタ中

ニアリマスルヤウニ、支那政府カラ名義上

ノ所有者ガ壓迫サレト云フヤウナ虞モ

アツト見エマシテ、事實上サウ云フ支那關

係ノ實質的ノ「インテレスト」ト全然手ヲ切

リマシテ、現在デ聞イテ見マス、殆

ド此ノ名義ハ全然名義デアリマシテ、此

ノ間實ハ其ノコトヲヤッテ居ル人ニ直接

聽イタノデアリマス、ガ、例ヘバ日本苗字

ガ小野ト申シマスレバ、ソレヲ支那讀ミ

ニシテ、サウシテ全クホソノ、幽靈ノヤウ

ナヤリ方デヤッテ居ルト云フヤウナコトデ、

最近ハ殆ドソレニナッテ居ルト云フヤウ

ナコトデアリマシテ、現在ニ於キマシテ

マシテハ此ノ實質的ノ名義人トハ全然離レ

テ居リマス、ノデ、名義人ガ其ノ船ヲ名換

ヘマスルト云フヤウナ位置ニ居ラレナイト

云フヤウニ聞キ及ンデ居リマス、或ハズツト

前ヤリマシタモノノ一二ニ付テハサウ云フ

モノガアルカモ知レマセスガ、大體ニ於テ

ハ心配ハナイヤウニ心得テ居リマス

○岩田宙造君 私モ條文ノ意味ニ付テハ二

三御尋ネシテ見タイ所モゴザイマスガ、只

今ノ所ハ此ノ程度デ、後ニ……

○各務謙吉君 此ノ管理法全部ガ活用サレ

レバ、ナカ／＼非常ナ船舶ノ需要ニ對シテ

ハ重大ナ關係ヲ持ツヤウニ考ヘラレマス

ガ、併シ此ノ中ノ一番ノ重點ヲ置カレテ居

ル點ハ、外國船ノ輸入ヲ許可スルヤ否ヤト

云フ點ト、第七條ノ運賃船舶ノ貸付料及造

船ノ價格等ニ對シテノ管理ヲ行フ、斯ウ云

フ點ニ考ヘラレマスガ、船舶ノ運賃、船舶ノ

賃貨料ヲバ命令シテ、之ニ對シテ必要ナ命

令ヲ爲スコトヲ得ト云フコトハ、是ハ管理

スルト云フ意味デゴザイマセウカ、又ソレ

ヲ管理スル場合ニハ、ドウ云フヤウナ方法

ヲ御考ニナッテ居リマスルカ、運賃及賃貨料

ノ如キハ始終變化ノアルモノデアリマス

ガ、或ハ是ハ荷主トカ若シクハ傭船者ヨリ

陳情ニ依ッテ之ヲ詮衡シテ命令ヲ行フト云

フ意味デゴザイマスガ、又ハ一般ノ情勢カ

ヲ眺メテ、政府ノ方デ判斷ヲ加ヘテ、之ニ

依ッテ此ノ七條ヲ發動セシムルト云フヤウ

ナ御考デアリマスルカ、實際ノ運用ニ付テ

ドウ云フ御考ヲ持ッテオイデニナルカ、同ッ

テ置キタイノデアリマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今ノ御尋ノ

件ハ、政府トシマシテハ、船主、荷主等ノ

間ニ能ク協調ガ出來マシテ、運賃ノ如キモ

ノモ適當ニ調整サレテ行クコトニナッテ居

レバ、非常ニ結構デアリマスガ、併シ又國

民生活ノ大局カラ見マシテ、運賃ガ適當デ

カイト考ヘルヤウナ場合モアルカト思ヒマ

ス、サウ云フヤウナ大局カラ見マシテ、適

當デナイト考ヘマスヤウナ場合ニ於キマシ

テハ、自然此ノ簡條ニ基キマシテ適當ナ統

制ヲ加ヘル必要ガ起ルコト思フノデア

リマスガ、併シ其ノ場合ニ於キマシテモ業

者ニ對シテハ重大ナ影響ヲ及ス問題デアリ

マスカラ、委員會ニ諮リマシテ、其ノ決議

ヲ經テ實行スルト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ

居リマス

○各務謙吉君 サウ致シマス、政府ガ大

局カラ御覽ニナッテ、一般ノ人民生活ノ上ニ

或影響ヲ持ツト云フヤウナコトノ懸念ノアル

場合ニ、此ノ條項ガ働キ掛ケヨウカト云フ

風ニ了解致シマスルガ、或ハ個々ノ場合デ、

ドウモ此ノ場合ニ於テノ運賃ガ或航路ニ於

テ高過ギルトカ、或ハ賃貨料ノ契約ヲシマ

ス場合ニ、其ノ間ノ商談ガ出來ヌト云フヤ

ウナ場合ニ或陳情ヲソレ等ノ當事者カラナ

シタ場合ニハ、ソレハ政府ノ方ノ此ノ何ニ

ハ働キヲ起サナイト云フ御考ニナリマスル

カ、個々ノ場合ガ起ル時ニハ……

○國務大臣(永井柳太郎君) 政府ニ於キマ

シテハ此ノ委員會ノ中ニ又專門委員ヲ設ケ

マシテ、或ハ運賃ニ關シ、或ハ傭船料ニ關

シテ、其ノ專門委員ハ矢張り民間カラモ委

員ヲ採用シテ、政府ト協力シテ調査ヲスル

ノデアリマスガ、サウ云フヤウナ問題ニ付

テソレ／＼ノ機關デ調査ヲシテ居リマシテ、

サウシテ政府トシテ何等カノ處置ヲ執ル方

ガ適當ダト思フ場合ニ於キマシテハ、進シ

デ其ノ處置ヲ執ルコトモアリマスルシ、又

陳情又ハ要求ヲ受ケマシテ、ソレヲ調査シ

タ上デ必要ガアルト考ヘマスレバ、委員會

ヲ招集シテ、其ノ意見ヲ聽イタ上デ適當ナ

處置ニ出ルト云フコトニナルト思ヒマス

○各務謙吉君 サウ致シマス、個々ノ陳

情ヲ認メテ、其ノ場合々々ニ於テ詮議ヲ行

フト云フ場合モアリマスコトニ了解シテ宜

シウゴザイマスガ

○國務大臣(永井柳太郎君) サウ云フコト

モアリ得ルト思ヒマス

○下村宏君 先程主管局長ノ御話ノ、損失

ガ此ノ前ノ上海事件ノ時ハ二三萬圓、是ハ

現實ノ損失ハ無論デセウガ、其ノ間ニ仕事

ガ進行シテ居レバ、得ベキ收入ガ入ラスト

云フヤウナモノモ皆入ッテ居ルノデスカ

○政府委員(小野猛君) 其ノ當時ノ調査デ

ハ現實ノ運賃收入ノ損失ヲ計算シタモノト

記憶シテ居リマス

○下村宏君 第四條ノ許可條件ハ先程カラ

主トシテ解體ノ場合ノヤウニ承知シテ居ル

ノデスカ、解體ノ場合ダケデスカ、或ハ用

途ヲ限定シテ、用途ノ如何ニ依ツタラ、斯ウ云フ船體デモ宜イトカ云フヤウナコトハ豫想シテナイノデスカ

○政府委員(小野猛君) 今ノ所ハソコマデ考ヘテ居リマセヌガ、色々研究致シマスルト、解體其ノ他適當ナ條件ヲ付スルコトニナルダラウト思ヒマスガ、其ノ他ノ條件、例ヘバ政府ノ相當ノ「コントロール」ニ從ヘト云フ意味ノコトハ、相當考究ノ上付ケタイト考ヘマス

○下村宏君 ソレカラ、先程カラ船籍ノ問題ガ出テ居ルノデスガ、自分ノ唯聞イタ所デハ、或時ニハ、例ヘバ支那船籍デアルトカ云フ爲ニ、保險ヲ付ケルトカ、付ケヌトリマス、又船主ガ船ヲ貸シテ居ルト、斯ウ云フ場合ニ、危險發生ノ時ノ保險金ヲ餘計得タイ爲ニ、必要以上ニ保險ヲ付スルト云フ話モ聞イテ居ルノデスガ、要スルニ、斯ウ云フ場合ニハ矢張り保險ガ付カナケレバ荷物ガ動カナイシ、又過分ニ付ケレバ、矢張りソレダケ「コスト」ガ上ルノデスカラ、「スムース」ニ、時局中ト雖モ貨物ガ動ク爲ニ、保險ヲ付ケナイトカ、或ハ必要以上ニ付ケルトカ云フコトノナイコトヲ私共ハ期待シマス、サウ云フ點ニ付テハ現在迄懸念

スベキコトハナイノデセウカ、又サウ云フ點ニ付テノ當局ノ御用意ガアルナラバ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(小野猛君) 其ノ點ニ付キマシテハ衆議院デモ質問ガアツタノデアリマスガ、保險料ニ關スル色々ナ統制ニ付キマシテハ、此ノ法律ハ遞信省所管ノ事項デアリマ斯诺デ、此ノ法律ニハ直接ニハ書イテ居リマセヌガ、從來、特ニ最近ニ於キマシテ、保險問題ニ付キマシテ商工省ト緊密ナル連絡ヲ執ツテ居ルノデアリマス、將來共ヨリ緊密ニ連絡致シマシテ、成ルベク「スムース」ニ此ノ動キガ行キマシヤウニ一層努メタイト考ヘマス

○下村宏君 是ハ希望ヲ添ヘテ、大臣ノ御答ヲ得タイノデアリマスガ、第六條ニ、「政府ハ運航業者ニ對シ航路、就航區域又ハ運送スベキ」云々ト云フ規定ガアル、是ハ此ノ間主管局長ノ御説明ニ依ルト、無論軍事上ノ必要アル物資ノ運送デアルトカ、避難民等ノ運送ノ場合ヲ豫想サレルト云フコトデアリマスガ、之ニ關聯シテ、私ハ希望ヲ添ヘタ質問ヲシタイノデアリマス、今日北交通線、滿洲方面ニ對シテハ大體ノ交通系統ハ、皆馬關ノ方迄汽車デ行ッテ關釜線デ又溯ッテ行ク、又航路ニシテモ可ナリ

充實サレテ居ル、併シ日本ノ朝鮮ナリ滿洲ニ對スル關係ハ、固ヨリ將來ノ國際交通路ト云フ上カラ見テモ、ドウシテモ日本海ニ於ケル交通路ヲ十分ニ充實致サナケレバ

カズ、又現在ノ北鮮ノ開拓、或ハ滿洲ニ於ケル産業又移住民ノ問題、ドウ云フコトニ觸レテモ日本海航路ト云フモノハ、非常ナ充實ヲ要スルト私ハ思ヒマス、恐ラクハ現在デモ軍事上此ノ方面ノ航路モ充實サレテ居レバ、現状以上ニ非常ナ便宜ガ得ラレテ居ルノデハナイカト云フコト迄懸念サレテ、又是カラ先ノ戰局ノ動キニ依ルト、此ノ方面ノ「ルート」モ相當ニ必要ガ増スノデハナイカ、ソレデ此ノ問題ハ單リ遞信省ノ問題デナクデ、鐵道、ソレカラ拓務或ハ朝鮮ナリ

滿洲國ナリ、各方面ト關聯スルコトデアリマスガ、丁度此ノ規定ヲ運用スル上ニ於テモ、ソレカラ又此ノ規定ヲ離レテモ、將來日本ノ國是ノ遂行ノ上ニ、是非陸運ト相俟ッテ、日本海ノ海運ノ上ニ斯カル機會ヲ十分活用シテ充實シテ戴キタイ、又此ノ規定ヲ動カス時ニモ、サウ云フ氣持デ出來ルダケ早く充實スル途ヲ講ジテ戴キタイ、是ハ大臣ハ拓務ノ方ニモ御關係ガアツタカラ、私ニ御同感ノコトト思ヒマスガ、此ノ機會ニ希望ヲ述ベテ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今ノ御尋ノ日本海ノ航路ノ重要性ト云フコトニ付キマシテハ、私ハ全く同感ニ存ジマス、平常デモ其ノ航路ノ充實ニハ大イニ努力スル必要ガアルノデアリマスガ、此ノ第六條ヲ適用スルニ當リマシテモ、其ノ點ニ注意ラシテ、其ノ航路ノ充實ヲ忘レナイヤウニ取計ラフト云フコトニ付キマシテハ十分努力致シマス

○出光佐三君 第五條ニ付テ御尋ネシタイデスガ、是ハ此ノ五條ガ適用サレルヤウナ場合ハ、ドウ云フ場合ト考ヘタラ宜シイノデアリマスガ

○政府委員(小野猛君) 是ハ正面ニ行ク場合ハ、餘程戰局ガ深刻ニ相成ツ場合ヲ豫想シテ居ルノデアリマス、外國諸港間ニ航權ヲ擴張シテ居ル船舶ヲ軍ノ必要ニ應ジテ呼戻サネバナラスト云フ事態デアリマシテ、現在デハ左様ナ事態ニ立至ッテハ居ラスト思ヒマスガ、戰局ガモウ少シ重大化スルト、サウ云フコトニ相成ル場合モ想像致シマス、私共ト致シマシテハ、成ルバク此ノ規定ノ發動シナイ程度デ戰局ガ終ルコトヲ希望スルノデアリマス、ソレカラ又此ノ半面ニ政府デ運賃、備船料ヲ相當抑ヘルト云フ場合ガ出デ參リマシタ場合ニ、之ヲ免

レテ、外國ノ高イ運賃ニ船が通レヨウト云フモノが相當出來テ來ルノデハナイカ、サウ云フ場合ニハ此ノ規定ノ發動スルト云フコトが起リハセヌカト思フノデアリマス、左様ニ御了承ヲ願ヒマス

○出光佐三君 此ノ外國諸港間ノ運送ト云フコトハ日本ノ貿易ヲ發達サスル上ニモ非常ニ必要ナコトデ、外國諸港間ノ航海ノミデナク、貿易モ矢張り國際貿易上日本ノ方デ扱フト云フコトガ、私ハ必要デハナイカト思ヒマスガ、ソレニシテモ矢張り航路ヲ維持シテ居ルト云フコトガ、結局ハ國際貿易モ取扱フト云フ基礎ニナリハシナイカト思フノデアリマスカラ、非常ニ重大ナルコトノヤウニ思フノデアリマスカラ、之ヲ濫ニ禁止シタリ、制限ヲ加ヘルト云フコトハ餘程慎重ニ考ヘナケレバナライカト思フノデアリマス、ソレデ絕對ニ已ムヲ得ナイ場合ガ起ツタ時ニハ是ハ仕様ゴザイマセヌガ、之ニ對スル何カ緩和ノ、サウ云フ場合ガ起ツタ時ノ緩和ノ方法、或ハ外國船ヲ傭入レルトカ、或ハ買入レルトカ、ソレニ對シテ内地ノ航路ニ使フ場合ト別ナ考ヘ方ヲ以テ御取扱ヒニナルト云フコトガ必要デハナイカト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ關シテドウ云フ御考デアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 全ク同感デゴザイマス、私共ト致シマシテハ、御用船ニ非常ニ取ラレテ居リマスル其ノ残りノ船デ、如何ニシテ外國貿易ヲ維持スルカト云フコトニ、此ノ法案トシテハ非常ナ重點ガアルト心得ルノデアリマス、ソレデ外國船ノ航權ヲ失フト云フヤウナコトハ、非常ナ場合デナケレバ、想像シテ居ラナイノデアリマスルガ、萬一今申上ゲマシタ通りニ、戦局ノ深刻化ニ伴ウテ、之ヲ必要トスルト云フ時ニハ、御説ノヤウニ、萬全ノ努力ヲ盡シテ、或ハ外國船ヲ傭フナリ、其ノ他ノ適當ナル方法ヲ以チマシテ、之ガ維持ニ盡シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ第十一條ノ如キモ、遠洋航路補助法デ現在デハ相當立派ナ船ヲ使ッテ居ルノデアリマスルガ、其ノ船ガ或ハ徵備サレルト云フヤウナ場合モアルカモ知レマセヌガ、其ノ場合デモソレニ代ル代船ヲ是非仕立テテ、其ノ航路ノ維持ハ成ルベクシナケレバナラス、併シ規格ハ幾分落スカモ知レヌト云フノガ第十一條ノ趣意デアリマス、サウ云フ精神デヤッテ居ルト云フコトニ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○出光佐三君 ソレカラは今ノ御話ト違ヒマスガ、今度ノ事變ノ輸送ニ付キマシテ……是ハ何デゴザイマセウカ、船腹ガ不足

ノ爲デゴザイマセウカ、或ハ外ノ何カノ原因デサウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 是ハ陸軍ノ軍事關係デアリマスルノデ、陸軍ノ方カラ御答辯ニナルト思ヒマス、只今政府委員ヲ呼ブコトニ致シマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 他ニ御質問ゴザイマセヌデスカ

○男爵深尾隆太郎君 此ノ管理法ト軍需工業動員法トノ關係ガドウナリマスカ、軍需工業動員法ニモ船舶ノヤウナモノヲ何時デモ管理ガ出來ルヤウニナッテ居ルノデアリマスガ、此ノ管理法ガ出來マスレバ、軍需工業動員法ニ於テ必要トスベキモノハ總テ之ヲ管理法ニ依ッテヤラレルノデアリマスカ、是ハ是デアリ、又別ニ軍需工業動員法ニ據ル管理ト云フヤウナコトガ考ヘラレルコトハデアリマセヌカ、其ノ點ヲ御尋ネ致シマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 軍需工業動員法ニ依リマシテ、軍事上ノ目的デ船舶ヲ使用スルトカ、管理スルト云フヤウナコトガ行ハレルノデアリマスガ、其ノ軍事上ノ目的デ管理サレ、又ハ使用サレルモノ、殘餘ノ船舶ヲ國民經濟ノ目的ニ如何ニ管理スル

カト云フコトガ本法ノ主眼デアリマス、勿論廣義ノ國防上ノ見地カラモ、船舶ノ統制、監督ニ付テハ、本法ガ考慮スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、併シ軍需工業動員法ニ據ル管理ノ目的ハ、直接軍事上ノ目的デ適用サル、ノデアリマス、其ノ軍事上ノ目的ニ依ッテ直接管理サル、船舶以外ノモノニ付テ此ノ法律案ヲ適用スルト云フ建前ニナッテ居ルノデアリマス

○男爵深尾隆太郎君 サウ致シマス、軍事用トシテ徵備サレテ居ル船ハ、勿論是ハ管理バカリデナク、軍事用ノ目的デ徵備サレルノデアリマスケレドモ、必要ナ船ト云フコトニナリマス云フト、何等ソコニ制限ハナイ譯デアリマスカラ、此ノ管理法ニ依ッテ管理サレテ濟ンデ行ッテ居ル、ソレヲ又直接ニ此ノ軍需工業動員法ニ依ッテ、此ノ管理法ニ關係ナク管理サレルト云フ場合ガ矢張りアルヤウニ思ハレマスガ、サウスルト、管理法ニ依ッテ考ヘラレテ居ル仕組ガ又此ノ爲ニ壞レテ行クト云フ憂ガアルヤウニ思ハレマスガ、サウ云フコトハデアリマセヌカ

○國務大臣(永井柳太郎君) 極ク大體ノ所ヲ申シマス、軍需工業動員法ニ依ッテ軍事上ノ目的ニ使用セラル、船舶ガ管理セラ

レ、徵備サレルト云フコトニナリマシテ、其ノ殘餘ノ船舶ニ對シマシテハ、國民經濟上又廣義國防上ノ意味デ、此ノ本法ヲ適用スルノデアリマス、併シナガラ、本法ヲ適用シテ居ル其ノ船舶ニ對シマシテモ、事變ノ進展ノ經過ニ依リマシテハ、更ニ軍事上ノ徵備ノ必要ガ起ツテ來テ、其ノ軍事上ノ目的デ徵發サレルト云フヤウナコトモ行ハレルト思ヒマス、其ノ場合ハ其ノ又殘リノ船舶ニ對シテ此ノ法律ガ適用サレルト云フコトニナルノデアリマス

○政府委員(小野猛君) 大臣ノ御説明ニ一寸補足致シマスルガ、此ノ法案ノ第一條ニ「本邦ハ支那事變ニ關聯シ海上ニ於ケル一般交通運輸ノ調整ヲ圖ルヲ目的トス」、此ノ一般交通運輸ト云フ意味ハ特殊ノ運輸ト云フ意味デナイト云フコトデ、一般ト云フ字ヲ舉ゲタノデアリマス、「コンモン」ト云フヤウナ意味デアリマシテ、大臣ノ御説明致シマシタ通り、軍需工業動員法ハ軍事ノ爲、是ハ一般民事ノ爲デアル、兩方トモ目的ハ異ツテ居ル、唯實際或場合ニ於キマシテハ、深尾男爵ノ申サレルヤウニ、其ノ時ハ能ク關係當局ニ於キマシテ、其ノ際ノ話合ハ、申合セテ支障ナク行キ得ル、斯様ナ話デ進ンデ居ルノデアリマス、是ハ此ノ法律ハ飽

ク迄大臣ノ仰シヤイマシタヤウニ、軍事ノ以外ノ場合ヲ目標ト致シテ居ルノデアリマス

○男爵深尾隆太郎君 大體御説明デ分リマシタガ、此ノ軍需工業動員法ノ方ヲ見テ見マスト云フト、其ノ第三條ノ二號ニ「政府ハ戰時ニ際シ必要アルトキハ第一條第二號ニ掲クル物件ノ全部又ハ一部ヲ管理スルコトヲ得」トアリマス、第一條第二號ハ「軍用ニ供シ得ヘキ船舶、海陸聯絡輸送設備、鐵道軌道及其ノ附屬設備其ノ他ノ輸送用物件」斯ウアリマスカラ、船舶ヲ全部管理スルト云フコトモ此ノ工業ノ動員法ノ建前ニアルト思フノデアリマス、ソレ故ニ私ハ斯ウ云フ御質問ヲ申上ゲタノデ、全部管理スルト云フコトモ、直接軍用デナクテモ、戰時ニ際シ必要アル時ハ行ハレルト云フノデアリマスカラ、此ノコトヲ具體的ニ管理法案デアリカト思ヒマス、其ノ關係ガドウ云フコトハデアリマスカ、此ノ全部管理ト云フコトハアリマスケレドモ、サウ云フコトハ實際ニ出テ來ナイコトデ、極メテ稀有ノ場合デアリ、此ノ管理法ト是トハ全然關係ノナイコトデアリマスカ、ドウデスカ、モウ一遍ソコヲハッキリ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小野猛君) 今深尾男爵ノ讀上ゲラレタ條文ハ、直接軍事ニ必要ナ爲ニハ、或ハ軍ノ必要ノ爲ニ管理スル場合ガアルカモ知レマセヌガ、然ラザル以上ハ、軍ノ目的以外ノ場合ハ此ノ法律ノ管理ニ屬スル、斯様ナ解釋デ進ンデ居ル次第デアリマス

○政府委員(栗橋保正君) 先程今回ノ事變ニ關シマシテ……鐵道ヲ利用スルコトガアルガ、是ハ如何ナル譯デアアルカト云フ御質問ガアツタサウデアリマスカ、是ハ一ニ當時ノ情勢カラ見マシテ、軍事上ノ必要ニ基イテ實施シタコトデアリマシテ、其ノ詳細ヲ申上ゲルコトハ、此ノ際御遠慮申上ゲタイト思ッテ居リマス

○橋本辰二郎君 陸軍ノ政府委員ガ御出席デゴザイマスカラ、チョット御尋ネ致シマスカ、御差支ナイ限度ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、陸軍ニ於テ徵備セラレテ居リマスル船舶ニ對スル戰時保險ト云フモノハ各船主ニ於テ何レモ之ヲ付ケテ居ラナイノデアリマスカ、萬一之ヲ軍事上ノ危險ヨリシテ、其ノ船舶ガ遭難シタ場合ニ於キマシテハ、是ハ陸軍ニ於テ補償セラレルト云フコトニナツテ居リマスカ、如何デアリマス

○政府委員(栗橋保正君) 陸軍ガ唯今徵備致シテ居リマスル船舶ハ隨意契約ニ依ツテ實施致シテ居ルノデアリマシテ、戰時保險ヲ付スル、付サナイト云フコトハ一々船會社ノ自由意思ニ基クモノデアリマス、併シナガラ戰時陸軍ガ徵備致シマシテ、船舶ヲ使ヒマス以上ハ、ソレニ搭載セラレル人馬物件ト云フモノニ付キマシテハ、是ハ軍部ト致シマシテ相當ノ危險ノアル場合ニハ、是ノ保護ヲスルト云フコトハ當然ノ處置デアリマシテ、船會社ニ於テモ其ノ邊ノ事情カラ考ヘマシテ、船舶ニ戰時保險ナドハ付ケヌ、隨意契約デ一向差支ナイト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 若シ此ノ御用船ガ空船ノ場合ニ於キマシテ、沈置水雷等ニ觸レマシテ沈没致シタ時ニ於キマシテハ、ドウ云フコトニナルノデアリマス

○政府委員(栗橋保正君) 斯カル場合ニ於ケル危險負擔ニ付キマシテハ、是ハ船會社ノ危險負擔デアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス、併シ私モ此處ニ契約書ヲ持ッテ居リマセヌカラ、ハッキリシタコトハ申上ゲ兼ねマスガ、ソレハ船會社ノ危險負擔ニ於テヤツテ居ルト考ヘテ居リマス、若ノ間違ッテ居リマシタラ、後刻訂正致シマス

○橋本辰二郎君 唯今ノ御答辯ハ少シ無理

ノヤウニ思ヒマスガ、普通此ノ戰時保險ト云フモノハ非常ニ率ガ高イモノデアツテ、船主ノ堪ヘ得ナイモノデアリマス、ソレ等ノモノニ付キマシテ、陸軍ノ御用ニ供スル以上ハ、危險區域ヲ航行致シマシテ、ソレガ爲ニ生ジタル損害ト云フモノハ、軍ニ於テ之ヲ補償セラル、ガ當然ダラウト常識ニ於テ判斷スル次第アリマス、只今ノ御答辯ニハ少シク私ハ意外ニ思フノデアリマスガ、ヨク御調べ置キヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙此ノ一點モ一ツ御調べヲ願ヒタイ、船主ニ依リマシテ其ノ船ノ時價一パイニ保險ヲ付ケテ居ルノモアリマス、若シクハ又時價ヨリモ遙ニ少額ノ保險ヲ付シテ居ルノモアリマスガ、斯ノ如キ場合ニ於キマシテ、此ノ船ニ損害ノ起ツタ時ニハ、之ヲ如何ニ處理スルカト云フコトニ付テモチヨット御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス、只今ソレ等ノコトニ付キマシテ御答辯ニ御差支ト云フコトデアリマスレバ、他ノ機會ニ於キマシテモ差支ナイト思ヒマス

○政府委員(栗橋保正君) 私契約書ヲ見マシトラバ、是ハハッキリスルト思ヒマス、私ノ記憶致シテ居リマス範圍ニ於キマシテハ、陸軍ガ備船スルモノニ付キマシテ、其ノ保

險ヲ如何ニスルカト云フコトヲ軍部ガ一ツノ條件トシテ、契約ノ條件トシテ戰時保險ヲ掛ケシムルト云フコトハナイヤウニ存ジテ居リマス、元來軍用ノ人馬物件ヲ搭載致シマシテ、危險區域ヲ運航致シマス際ニハ、船會社自身ヨリモ軍部ニ於テソレノ安全ト云フコトニ付キマシテハ、深甚ノ考慮ヲ拂ツテ實行致スノデアリマス、軍部ガ考モ及バヌヤウナ不測ノ災害ハ、是ハ別デゴザイマスガ、對敵行動ナドニ依リマスル危險ニ付キマシテハ、軍部ハ陸海共ニ協力萬全ヲ期シテ實行致シテ居リマス、船會社ハソレニ付キマシテハ相當安心シテ船舶ノ徵傭ニ應ジテ運航ガ出來ルト、斯ウ云フ現狀ニ相成ツテ居リマス

○橋本辰二郎君 實ハ戰時保險ト云フコトニ付テ軍部ニ於テ責任ヲ御持チニナラスト云フコトニナレバ、從ツテ備船料等ノ協定ノ場合ニ於テモ非常ナ關係ガ其處ニアラウト思ヒマスカラ、其ノ邊ノ點ヲ確メテ置キタイト實ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、能ク御取調ノ上ニ於キマシテ、他ノ機會ニ於キマシテデモ、御答辯ヲ御願ヒ致シタイト考ヘテ居リマス

○男爵井上清純君 今ノ御質問ニ關聯シタコトデアリマスガ、是ハ多少私ノ意見ガ

入ルカモ分リマセヌガ、今回ノ軍隊輸送ニ關シマシテ、ドウ云フ準備ヲサレタカ、少シク船舶ノ準備ニ付テ遺憾ノ點ガアツタヤウニ思ヒマス、是ハ併シ外カラ見タ觀察デアリマスカラ、或ハ實情ニ適シナイコトデアルカモ知レマセヌガ、大體外カラ見レバ、運輸ノ方面ガ遺憾ガアツタヤウニ思ヒマスガ、今後ノコトモアリマスシ、是カラドウ位イノ兵隊ヲ輸送スルカ分ラナイ、サウ云フ場合ニ於テモ萬全ナル方策ガ立ッテ居ルノカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(栗橋保正君) 委員長ニ御願ヒ致シマスガ、チヨット速記ヲ中止願ヒマシテ……

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 筆記始メ、先程保留ニナリマシタ條文ニ付テノ御質問モ此ノ際ドウゾ……

○橋本辰二郎君 第三條ノ規定デゴザイマスガ、是ハ將來ニ關スルモノト思ヒマスガ、若シモ現在ニ於キマシテ、外國人ニ備船中ノモノ若シクハ外國人ニ擔保ニ供シタモノガアルト致シマスレバ、此ノ處置ハドウ云

フ風ニナサルノデゴザイマスカ

○政府委員(小野猛君) 此ノ法律施行ノ日以後デアリマス、ソレ以前ノ事項ニハ適用ナイノデアリマス、假リニ此ノ法律施行前ニ讓渡ノ契約ヲシテ居ルト云フヤウナ場合ガアリマシタトスレバ、而シテ引渡ハマダアルト云フヤウナ時ニハ、此ノ法律ノ施行ニ依ツテ引渡ヲ抑ヘルト云フヤウニナルカモ知レマセヌガ、サウ云フ相互ラザルモノニ付テハ、此ノ法律トシテハ施行後ノモノノミニ付テ準用スル、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 先程モ御話ガアリマシタガ、此ノ第五條ノ運用ト云フコトニ付キマシテハ最モ是ハ慎重ナル注意ヲ要スルモノデアリマスルガ、是ハ若シモ一步ヲ誤リマシタナラバ、折角得タ所ノ既得航路ヲ拋棄スルト等シイト云フコトニナリマス、而シテ一應航路ヲ拋棄致シマシテ、外國船ヨリ其ノ後ヲ蠶食セラレタル場合ニ於キマシテハ、其ノ恢復ト云フコトハナカ／＼容易デナイノデアリマス、此ノ航路ニ付キマシテハ荷主若シクハ其ノ取扱業者ト云フモノトノ間ニ矢張り特別ノ長イ期ニ互ル所ノ契約ガ存シテ居リマスノデ、一度失ツタル所ノ航路ノ恢復ト云フコトハナカ／＼ムヅカシ

イノデアリマシテ、若シモ斯ウ云フ命令ヲ發セラル、コトニナリマシタナラバ、海運獎勵トカ造船補助法トカ云フ折角海運發展助長ニ關スル法律ノ下ニ帝國海運ノ發展ヲ非常ニ獎勵セラレテ居リマスル趣旨ニ全ク反スルヤウナコトニナルデアリマス、ソレデ此ノ事コソハ私第七條同ジヤウニ船舶管理委員會ニ其ノ諮問スベキ重要事項ト思フノデアリマスガ、之ヲ諮問事項ニ加ヘナカツタ所以ハ、如何ナル所ニ其ノ理由ガ存スルノデアリマスカ

○國務大臣(永井柳太郎君) 第五條ニ屬シマスル事項ハ、大體ニ於テ緊急ヲ要スル事柄デアリマス、又軍事上ノ目的カラモ機宜ノ措置ヲ執ラネバナラヌヤウナ事柄ガ起ツテ來ルコトヲ記シテアルノデアリマシテ、之ヲ委員會ニ諮ツテ決定スルト云フコトハ困難ダト思ヒマス、ソレデハ委員會ニ掛ケルベキ事項ノ外ニ置イタノデアリマス、勿論第十三條ニ規定シテアリマスコトノ外デモ、業者ニ重大ナル影響ヲ及スト思ヒマスモノデ、緊急ヲ要シナイ事柄ニ付キマシテハ、出來ルダケ業者ノ意見モ徵スルヤウニシタイトハ思ウデ居リマスケレドモ、緊急ナル場合ニ於テハ機宜ノ處置ヲ執ラネバナラヌト云フヤウナ事柄ハ、其ノ

運ビニハ至ラナイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 御考ノアル所ハ承リマシタガ、私敢テ其ノ御説明ヲ納得スル次第デハナイノデアリマスガ、マアソレハソレトシテ置キマス、第八條ノ船舶製造順位ノ變更ト云フヤウナコトガアリマスルガ、船舶ノ竣工期間ト云フコトハ船舶注文者ニ於キマシテ最も必要ナル條件デアリマスガ、其ノ順位ヲ變更セシムルト云フコトハ、契約者雙方ニ取りマシテ最も重大ナル事ニ屬スルノデアリマス、從ヒマシテ注文主ニ於キマシテハ、其ノ船舶ノ竣工ノ時期ヲ豫定シテ、荷物ノ契約ヲスル、若シハ備船契約ヲスルト云フコトヲ致シテ居リマスルノデアリマスガ、若シ其ノ順位ノ變更ニ依リマシテ、自己ガ直接損害ヲ被ムルノミナラズ、其ノ先々迄派生的ノ損害ヲ被ムラセルヤウナ事態ガ必ズ發生スルト思フノデアリマスガ、斯クノ如キ場合ニ於キマシテハ、是ハ法律ノ結果トシテ政府ニ於キマシテハ何等之ニ對スル補償ハシナイ御意向デアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 此ノ法律ニ付キマシテハ、補償ノ規定ヲ原則トシテ置イテ居ラナイノデアリマス、從ヒマシテ御説ノヤウナ損害ガアツタ時ニハ無理デハナイカト

云フ意見ガアルノモ御尤モデアリマス、併シ私共要ハ運用ノ問題デアリマスガ、此ノ船舶ノ順位ヲ變更スルト云フヤウナコトニ付キマシテモ、既ニ船舶ニ依ッテ相當工事ガ進ンデ居ルト云フ風ナモノヲ後廻シニスルトカ云フヤウナ命令ハ成ルベク出サナイ積リデアリマス、是等ニ對シテ色々ナ報告ヲ徵スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、此

ノ造船ニ關スル色々ナ注文其ノ他一々報告ヲ取りマシテ、此ノ工事ニ著手セザル以前ニ相當ノ命令ヲ出シマシテ損害ヲ少カラシメルヤウナ用意、サウ云フ風ナ用意ハ致シタイト思フノデアリマス、外國カラ注文ヲ受ケルト云フヤウナ船バカリ此ノ際成ルベク造船業者トシテハ早クヤリタイト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、矢張り此ノ際ハ後廻シニスルト云フヤウナコトハ、成ルベク工事著手前ハ其ノ事情ヲ知ッテ命令ヲスルヤウナ措置ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、此ノ法律ニ依ッテハ如何ナル損害ニ對シテモ補償ハセザル趣意ダト云フコトデアリマスガ、ソレハ諒承致シマシタ、次ハ九條ニ關スル「船舶ノ施設又ハ乗組員ノ保護若ハ整備ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」

トアリマスガ、船舶ニ對シマシテハ、造船規程トカ、検査規程トカ、又ハ船員法等ニ依リマシテソレノ法律ニ從ッテ相當ナル施設ヲ爲シ、又整備モ致シテ居リマスガ、此ノ法律ニ依リマシテ、更ニ其ノ上ニ何カ命令ニ發シテ、負擔ヲ課スルト云フコトハチヨット二重負擔ニナルヤウニ考ヘマスガ、サウ御考ヘニナリマセスカ

○政府委員(小野猛君) 第九條ハ戰時事變ニ對應スル爲ノ施設デアリマシテ、船舶安全法、其ノ他船舶職員法等ノ平時ノ船舶安全上ノ施設トハ目標ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ單ナル事變對應ノ處置デアリマスノデ、例ヘバ、例ヲ舉ゲタ方ガ宜イト思ヒマスガ、船舶所有者ニ對シ船舶ノ施設ノ外ニ、危險區域ニ行ク場合ニ船舶ノ「カムフラージュ」ヲスル、或ハ防彈ノ鐵板ヲ張ラセルトカ、是ガ時宜ニ依ッテハ鐵兜ヲ備ヘ付ケルトカ云フ程度ノモノデアリマシテ、是ハ船舶業者自體モ相當之ニ依ッテ自己ノ防禦モ出來ルコトデアリマスノデ、補償等ノ問題モ之ニ付テハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、乗組員ノ保護又ハ整備ト申シマスガ、此ノ保護ニ付キマシテモ、大體事變對策デアリマシテ、危險區域ニ行ク場合ニハ危險手當ノ制度ヲ設ケルヤ

ウエト云フヤウナコトヲ豫想シテ居ルノデアリマス、乗組員ノ整備ト申シマス日本

人、支那人ノ船員ヲ持ッテ居ルモノガアル

場合ニハ、日本人ヲ入レ換ヘサセルト云フ

ヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、何

レモ平時ノ船舶職員法ト船員法トニ規定シ

テナイコトナノデアリマス

○橋本辰二郎君 第十一條ハ、是ハ場合ニ

依ッテハ現在ノ規定ヨリ資格性能ヲ引下ゲ

ルト云フ御趣意デアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 左様デゴザイマス

○橋本辰二郎君 第十二條モ、是モ乗組員

ノ定員ヲ減ジ、又ハ一等運轉手ヲシテ船長

ヲラシムルト云フヤウナコトヲ御考ニナッ

テ居ルノデアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 大體左様デアルノ

デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、前議會

デモ橋本サンノ御質問ガアリマシタガ、船

員ノ缺乏ト云フコトニ付テ私共非常ニ憂慮

シテ、之ガ切抜ケニ努力致シテ居ルノデア

リマスガ、此ノ規定ニ依リマシテ船員、船

舶職員ノ乗組定員ヲ或場合ニハ或程度ニ減

シ得ル、又最近ノ狀況ニ於キマシテハ特ニ

小型船ノ乗組員ガ徵發サレマシテ、一船ニ

免狀持ガ居ラヌト云フヤウナ場合ガ相當ア

ルト聞キ及ンデ居ルニ付キマシテハ、相當

ノ過去ノ經驗ヲ見マシテ、一時經驗者ヲ以

テ免狀持ニ換ヘサセヨウト云フヤウナコト

モ考ヘテ居ルノデアリマス

○橋本辰二郎君 私ノ質問ハ是デ……

○岩田宙造君 私モ二三御尋ネシテ見タイ

ノデスガ、此ノ第二條ノ運航業者ト云フモ

ノニ關シテ御尋ネシタイノデアリマスガ、

是ハ例ヘバ、鑛山業ヲ營ンデ居ル者ガ、自分

ノ鑛石ヲ運ブ爲ニノミ或船ヲ賃借シテサウ

シテ外ノ荷物ハ運バナイノデアリマスガ、

自分ダケノ荷物ヲ運ンデ居ルトカ、又材木

業者ハ自分ノ材木ダケヲ運ブ、サウ云フ場

合モ矢張り運送業ヲ營ム者ト云フ中ニ入ル

御趣意デアリマスカ、サウ云フモノハ其ノ

中ニ入ラナイノデアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 海上ニ於テ人又ハ

物ヲ運送スル事業ヲ營ム者、サウ云フコト

ガ何度モ繰返サレテ事業ト云フ意味ニナリ

マスレバ、自家用ノ船舶ヲ以テスル場合モ

之ニ含マセル趣意デアリマス

○岩田宙造君 自分ノ仕事ダケヲヤル場合

デモ矢張り入ルト云フ御趣意……ソレカラ

第六條デアリマスルガ、第六條デ、或運送

スベキ人若シクハ物ヲ指定シテ、航海ヲ

命ゼラレマシタ場合ニ、其ノ運賃ガ矢張り

運航業者トノ是ハ協定デ定メサスル御趣意

デアラウト思フノデスガ、ソレガ若シ協定

ガ纏リマセスカッタヤウナ場合ニハ、結局此

ノ第七條ニ依ッテ先程橋本サンカラ御尋ニ

ナリマシタヤウナ、政府ニデモ陳情ヲシ

テ、ソレヲ裁定シテ貰フト云フコトニナル

ノデアリマセウカ

○政府委員(小野猛君) 大概ノ場合ハ契約

ニ依ッテ行キ得ルト思ヒマスガ、ドウシテモ

行ケナイト云フコトニナリマスルト、今申シ

タヤウニ通信省ガ中ニ入ッテ、適當ナ運賃ニ

裁定シ、其ノ運賃デ行クコトヲ命ズルト云

フヤウナコトニ相成ルト考ヘマス

○岩田宙造君 モウ一ツ伺ヒタイ、第二十

一條デ本法ノ罰則ヲ適用スル者ガ定メラレ

テ居ルノデアリマスガ、其ノ前半ハ法人ニ

關スルモノデ、後半ハ個人ニ關スルモノノ

ヤウデアリマスガ、個人ニ關スル方ガ「本

法施行地ニ住所ヲ有スル」云々トナッテ居ル

ノデアリマスガ、若シ本法施行地ニ住所ヲ

有シナイデ、本法施行地外ニ住所ヲ持ッテ

居ル人ガ日本船舶ヲ有シテ居タヤウナ場

合ニ、其ノ人ハチョット此ノ罰則ノ適用カ

ラ抜ケルデナイカト云フヤウナ疑ガアリマ

スガ、ソレハ心配ナイノデゴザイマスカ、チ

○政府委員(小野猛君) 本法施行地外ニ住

所ヲ持ッテ居ル日本人……大體帝國臣民デ

アリマスガ、日本人デアリマスレバ、ソレ

ハ日本船舶ニナリマスルノデ、其ノ者ガ施

行地外デアッタ行爲ニ付テ私ハ適用ニナル

ト思ヒマスガ

○岩田宙造君 是ハ詰リ本法施行地ニ住所

ヲ有スル人ダケニ適用ガアルコトノヤウニ

チョット讀メサウニ見エルノデアリマスガ

○政府委員(小野猛君) 是ハ他ノ條文ノ例

文デアリマスルガ、本法施行地外ニ住所ヲ

有スル日本船舶ヲ持ッテ居ル例ハ極ク稀有ナ

例デアリマスルノデス、是ハ稀有ナ例トシ

テ實益上ソシナ必要ハナカラウト斯ウ云フ

ノデ斯ク現シタト云フ風ナコトニナッテ居

リマス

○橋本辰二郎君 此ノ二十三條ニ「朝鮮及

臺灣ニ於テハ第十一條乃至第十三條ノ規定

ニ關シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ

得」トシテアリマスガ、ソレハドウ云フ譯

デス

○政府委員(小野猛君) 此ノ法律ハ朝鮮臺

灣ニ當然施行スルト云フコトヲ目的トシテ

居ルノデアリマスルガ、之ヲ假ニ朝鮮ニ施

行シタ場合ニ第十一條乃至第十三條……朝

ソレカラ 船舶職員法ニ相當スル船舶職員
令ト云フモノガアルノデス、ソレカラ
十三條ノ船舶管理令、是モ朝鮮ニハ設ケ
ナイデモ宜イデハナイカトスウ云フ意見
ノヤウデアリマス、從ヒマシテ是ガ朝鮮
ニ施行サレマシタ場合ニハ今申上ゲマシ
タ條文ニ付テハ朝鮮デハ例ヘバ船舶職員
法ハ船舶職員會トスト云フコトニナル、
或ハ十三條ノ規定ヲ適用セズ、斯ウ云フコ
トヲアル用意ノ爲デアリマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 御質問モ大體
濟ミマシタと思ヒマスガ、左様心得テ宜シ
ウゴザイマスカ、ソレデハ是カラ討議ニ入
リマス、御發言ガゴザイマスレバ……

○橋本辰二郎君 今春以來我が國ニ於キマ
シテ船腹ガ非常ニ不足ヲ來タシマシテ、物
資ノ輸送上ニ多大ノ支障ヲ來タシマシタ、
從ヒマシテ運賃モ著シク昂騰致シタノデア
リマス、而シテ之ヲ自然ノ推移ニ放任致シ
マスル時ニ於キマシテハ、我が海運界ニ非
常ナ動搖ヲ來タシマシテ、名狀スベカラザ
ル混亂ヲ來ス虞ガアツタノデアリマス、ソ
コデ我が國ノ海運界ノ先覺者ニ於キマシテ
ハ自主的統制ヲ試ルコトニナリマシテ、此
ノ運賃ノ最高限度ヲ定メマシテ、而シテ配
給ノ調節ヲ致シマシテ、船ノ輸送力ノ能率

ヲ高メ、而シテ一方市場ノ安定ヲ來スト云
フコトヲ目的ト致シタノデアリマス、此ノ
自主的統制ノ爲ニ自然ニ放任致シマスル時
ニハ如何ナル事態ヲ爆發スルカモ圖ラレザ
リシ所ノ危機ヲ未然ニ防止スルコトガ出來
ナイノデアリマシテ、本邦船主竝ニ其ノ先
覺者ノ機宜ノ處置ニ付キマシテハ、私始メ
此ノ海運ニ關係スル者ノ稱讃止マザル所デ
アリマス、幸ニ致シマシテ春以來ノ非常ニ
不足致シテ居リマシタ所ノ船腹ノ調節モ
略、付カウト云フ際ニ偶、北支事變ガ勃發シ
タノデアリマス、茲ニ於キマシテ船腹ノ不
足ト云フモノハ愈、益、急迫ヲ來シマシテ、是亦
自然ノ推移ニ放任致シマシタナラバ、此ノ
運賃ノ昂騰ト云フコトハ其ノ底止スルコト
ヲ知ラザル所ノ有様デアッタと思フノデア
リマス、處ガ幸ニ致シマシテ此ノ自主的統
制ノ效果ニ依リマシテ、此ノ場合ニ於キマ
シテモ別段ニ運賃ノ昂騰ヲ來サザルノミナ
ラズ、我が日本ノ海運業者ハ歐洲戰役中ニ
於キマシテ、甚ダ謹慎ナル舉動ヲ演ジマシ
タ結果トシテ國民ヨリ非常ナル反感ヲ招イ
タコトガアリマス、茲ニ於キマシテ此ノ前轍
ニ鑑ミマシテ、陸軍ノ徵備ニ付キマシテハ
進ンデ之ニ應ズルノミナラズ、賃率モ先程
御聽キノ通り、普通ノ市場ノ率ヨリモ三割

ヲ引キマシテ御用ニ應ズルト云フコトニ
ナツタノデアリマス、ソレデ斯クノ如ク日
本ノ船主ト云フモノハ自重自制ヲ致シマシ
テ、成ルベク今日ノ此ノ時局ニ對シマシテ
モ自己ノ持ッテ居リマスル所ノ使命ヲ全ウス
ルト云フコトニ衷心ヨリ皆研究ラシ、又實
行シツ、アル際デアリマス、然ルニ茲ニ政
府ハ突如トシテ本案ヲ提出セラレタノデア
リマス、政府ノ御説明ニ依リマスレバ、戰
局ガ今後益、進展ヲスルニ從ヒマシテ、所要
船腹ト云フモノハ此ノ上益、激増スルコト
ハ是ハ疑ナイコトデアアル、而シテ此ノ場合
ニ於テ賃率モ從ッテ暴騰スル虞ガアル、ソ
レ故ニ此ノ船腹ノ激増ヲ緩和スル爲ニ外國
船ノ輸入ヲ許可シテ船腹ノ調節ヲ圖ルト同
時ニ、又斯クノ如キ時勢ニ於キマシテハ自
主的統制ト云フモノハ其ノ破綻ヲ免レザル
コトヲ必ズシモ保證スルコトハ出來ナイ、
ソレ故ニ政府ニ於キマシテ本案ヲ制定シ
テ、如何ナル事態ニ際會致シマシテモ、其
ノ輸送ノ圓滑ト運賃ノ激騰トヲ防止致シマ
シテ、而シテ一般海運業者ニ對シテ適當ナ
ル監督ヲ加ヘテ、非常時ニ際シマシテ軍事
上ハ勿論、經濟上ニ於キマシテモ國家ノ必
要トスル所ノ使命ニ順應セシムルト云フ御
趣旨デアルト云フ提案ノ御説明デアリマ

ス、而シテ一方ニ於キマシテ此ノ船會社、
船主自ラ組織シタル所ノ自主的統制ト云フ
コトニハ最も重キヲ置キマシテ決シテ之ヲ
無視スルノデヤナイ、寧ロ此ノ管理案ナル
モノハ自主的統制ノ補強工作、若シクハ其
ノ保證トモ稱スベキモノデアルト云フコト
デアリマシタ、本法ハ臨時法デアリマシテ、
時局對策ト致シマシテハ私モ其ノ必要ヲ認
ムルノ一人デアリマス、併シナガラ其ノ運
用如何ト云フコトニ付キマシテハ最も是ハ
日本ノ海運ニ關スルモノハ重大ナル關心ヲ
拂ハナケレバナラナイノデアリマス、萬一
其ノ運用ヲ誤リマシタ場合ニ於キマシテハ
折角世界的ニ脅威スベキ急速ナル發展ヲ遂
ゲテ居リマシタ所ノ我が海運界ノ發展上ニ
付キマシテ一大暗影ヲ投ズルノ虞ガ十分ニ
アルノデアリマス、元來本法ノ海運界ノ發
展ナルモノハ勿論國家ノ保護ニ依ルト言ヒ
マスルケレドモ、一ハ當業者自ラガ非常
ニ奮起致シマシテ、其ノ自由競爭ト營利心
ノ充足等ニ依リマシテ今日ノ成果ヲ收メタ
モノデアルト云フテ宜カラウト思ヒマス、
デ此ノ場合ニ於キマシテ、萬一國家ガ強大ナ
ル所ノ權力ヲ用ヒマシテ、其ノ運用ヲ誤リ
マシタナラバ、折角海外ニ於キマシテ得タ
ル所ノ我が航權ヲ失墜スルノミデアリマセ

趣旨デアルト云フ提案ノ御説明デアリマ
ス、而シテ一方ニ於キマシテ此ノ船會社、
船主自ラ組織シタル所ノ自主的統制ト云フ
コトニハ最も重キヲ置キマシテ決シテ之ヲ
無視スルノデヤナイ、寧ロ此ノ管理案ナル
モノハ自主的統制ノ補強工作、若シクハ其
ノ保證トモ稱スベキモノデアルト云フコト
デアリマシタ、本法ハ臨時法デアリマシテ、
時局對策ト致シマシテハ私モ其ノ必要ヲ認
ムルノ一人デアリマス、併シナガラ其ノ運
用如何ト云フコトニ付キマシテハ最も是ハ
日本ノ海運ニ關スルモノハ重大ナル關心ヲ
拂ハナケレバナラナイノデアリマス、萬一
其ノ運用ヲ誤リマシタ場合ニ於キマシテハ
折角世界的ニ脅威スベキ急速ナル發展ヲ遂
ゲテ居リマシタ所ノ我が海運界ノ發展上ニ
付キマシテ一大暗影ヲ投ズルノ虞ガ十分ニ
アルノデアリマス、元來本法ノ海運界ノ發
展ナルモノハ勿論國家ノ保護ニ依ルト言ヒ
マスルケレドモ、一ハ當業者自ラガ非常
ニ奮起致シマシテ、其ノ自由競爭ト營利心
ノ充足等ニ依リマシテ今日ノ成果ヲ收メタ
モノデアルト云フテ宜カラウト思ヒマス、
デ此ノ場合ニ於キマシテ、萬一國家ガ強大ナ
ル所ノ權力ヲ用ヒマシテ、其ノ運用ヲ誤リ
マシタナラバ、折角海外ニ於キマシテ得タ
ル所ノ我が航權ヲ失墜スルノミデアリマセ

ヌシ、又此ノ業者自身ノ士氣モ著シク阻喪致シマシテ、玆ニ企業心ノ萎靡不振ヲ來シマスト云フコトニナリマスレバ折角海運ノ發達助成ノ爲ニ努力セラレテ居ル所ノ遞信省ノ御趣意ニ反スルヤウナ憂フベキ結果ヲ來スヤモ圖リ難イノデアリマス、ソコデ私ハ本案ノ成立ハ希望致シマスルガ、其ノ運用ニ付キマシテ、最モ慎重ナル態度ヲ執ラレ、周到精密ナル御注意ヲ拂ハレ、而シテ又一方自主的統制ト當業者ノ公正ナル意見ヲ尊重セラレマシテ、其ノ運用ヲ誤ラヌヤウニ努メラレムコトヲ希望致シマシテ本案ニ贊成ヲ致シマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 採決致シマス

○下村宏君 チョット一ツ……

○委員長(伯爵溝口直亮君) 質問ガアリマス

○下村宏君 先程私ノ質問デ盡キテハ居ルノデスガ、一ツハ船舶ノ權衡ノ上ニ商工省ナリ、船舶業者ナリ、又保險會社トノ間ニドウカ緊密ナ連繫ヲ取ッテ戴キタイ、ソレカラ此ノ法律ハ臨時ノ法律デ、最後ノ支那事變ノ終了ト云フモノガ何時ニナルカト云フコトハ今日ノ新聞ニ於テハ色々岐レテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ何等カノ形式デ出ルノデアリマセウガ、無論成ルベク早く

廢止出來ルヤウニ不斷カラ努力ヲ續ケテ戴キタイ、ソレカラ今度ノ事變デ恐ラクハ長江一帶ニシテモ各紡績工場デアルトカ、汽船會社デアルトカ尠カラヌ損害ヲ受ケルノデアリマスガ、是ガ又後デ早く復舊シテ、元ノ仕事ガ回復ノ緒ニ著カナケレバナラナイ、從ッテ損害賠償ノ種別程度等ノ調査算出ト云フコトモ、今ノ内カラ相當考慮ヲ拂ッテ置ク要ガアルノミナラズ、他ノ各省トモ連繫ヲ圖リ足並ヲ揃ヘ調査ヲ續ケテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ先程モ申上ゲマシタ日本海航路ノ件ハ、私ガ現在ニ於テモ此ノ航路ガ相當充實サレテ居ッタ可ナリ軍事上ニモ一層ノ利便ヲ得テ居ルベキ筈ダト思ヒマス、此ノ席ニ拓務省陸軍省ノ關係ノ方モ御出席ニナッテ居リマスガ、ドウ

カ宜シク傳ヘテ戴キタイ、又大臣ニ於カレテモ鐵道ナリ、拓務ナリ、朝鮮ナリ、滿鐵ナリ、又滿洲國ナリ、是等ノ關係方面ト足並ヲ揃ヘルヤウ御盡力ヲ願フ、言フ迄モナク唯船ダケヂヤイカナイノデ、互ニ力ヲ合セテ一日モ早く此ノ方面ノ交通關係ガ充實スルヤウニ御努力ヲ願ヒタイ、以上ノヤウナ希望ヲ述ベテ贊成致シマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 他ニ御發言ガナケレバ、採決致シマス、本案、政府提出

ノ原案ヲ可決致シマシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ全會一致可決シタコトト認メマス、委員會ハ之ニテ閉ヂマス

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵深尾隆太郎君
委員 侯爵佐竹 義春君
侯爵小村 捷治君
子爵大久保 立君
子爵秋元 春朝君
子爵井上 勝純君
男爵東久世秀雄君
下村 宏君
男爵井上 清純君
坂野鉄次郎君
堀 啓次郎君
各務 鎌吉君
橋本辰二郎君
岩田 宙造君
出光 佐三君
松岡 潤吉君
大西虎之介君

國務大臣

遞信大臣 永井柳太郎君

政府委員

陸軍主計大佐 栗橋 保正君
遞信政務次官 田島勝太郎君
遞信參與官 犬養 健君
遞信省管船局長 小野 猛君
拓務政務次官 八角 三郎君

昭和十二年九月九日印刷

昭和十二年九月十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局